

「日本の近代戯曲研修セミナー」は、私達日本演出者協会が、新進芸術家育成事業のひとつとして文化庁より委託を受け、二〇〇九年から開催している事業です。従来我が国ではあまり重要視されてこなかった、明治期以降の日本の戯曲史に視点を向け、多くの絶版となっている戯曲を含めた作品の、様々な形での研修やリーディング形式での上演を通して私達演出に携わる者の勉強の機会とし、今後の活動に活かしたい、というのが主な狙いです。日常の演劇活動ではあまり触れることのない、近代戯曲の名作を、学び、表現することは、ベテラン、若手を問わず刺激的な作業となることは間違いなく、また、参加していただく協会以外の演劇人の方々にとつても、技量と考察を深めていただくまたとない機会であると考えます。

これまでこの企画は、この地域で5回開催されました。今回は、日本の近代演劇の祖とも言うべき明治・大正期の作家たちにスポットを当て、有島武郎、岡田八千代、岡本綺堂等の作品を中心に研修します。様式を主眼とする歌舞伎劇からシェイクスピア、イブセン等の翻訳劇、そして築地小劇場運動へと移り変わる激動の時代にあつて、あくまでも日本的な文化の土壌と言葉に拘り、今日への道を拓いた先人たちの足跡を辿ることで、私達現代の演出者とこれからの人材にとつての糧としたい、それがこの企画の狙いです。

開催にあたっては、これまで行ってきたリーディング形式とシンポジウムに加え、江戸時代の伝統演劇から明治・大正期の新劇運動へと繋がるルーツに重点を置き、初日には、歌舞伎劇の現代演劇としての再生の試みをエネルギーに展開している、木ノ下歌舞伎演出家、杉原邦夫氏、シンポジウムには若手舞踊家として話題の西川流家元、西川千雅氏を迎え、若年層をはじめとした幅広く演劇に関心をよせる方々に、話題を提供できる新たな展開を模索します。



文化庁委託事業「平成26年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
日本の近代戯曲研修セミナー in 東海 2014 (2014年度事業 2015年実施)

「近代劇の先駆け・明治、大正の戯曲」

2015年 1月15日(木)～18日(日) = 愛知県芸術劇場小ホール

参加費 = 特別企画 ○ 前売り当日共 **1,000円** (リーディングチケットをお持ちの方は無料)
リーディング ○ 前売り当日共 **2,000円** (シンポジウム参加費含む)

チケット前売り○愛知県芸術劇場プレイガイド・「日本の近代戯曲研修セミナー in 東海」実行委員会
お問い合わせ○「日本の近代戯曲研修セミナー in 東海」実行委員会
(TEL&FAX) 052-752-1033・E.mail kikumoto@mild.ocn.ne.jp

- 1月15日(木) 19:00～ 特別企画 木ノ下歌舞伎演出家・杉原邦生に聞く
『古典劇がわたしたちに伝えてくれるもの』
ゲスト・杉原邦生 (木ノ下歌舞伎演出家) / 聞き手・菊本健郎 (日本演出者協会)
- 1月16日(金) 19:00～ リーディング 「老船長の幻覚」…有島武郎 作 / 木村 繁 演出
「黄楊の櫛」 ……岡田八千代 作 / 丸知亜矢 演出
- 1月17日(土) 13:00～ リーディング 「鳥辺山心中」 ……岡本綺堂 作 / 齋藤敏明 演出
「老船長の幻覚」…有島武郎 作 / 木村 繁 演出
16:00～ シンポジウム 「若手演劇人にとっての近代戯曲」
シンポジウム特別ゲスト・西川千雅 (日本舞踊家・西川流四世)
- 1月18日(日) 13:00～ リーディング 「鳥辺山心中」 ……岡本綺堂 作 / 齋藤敏明 演出
「黄楊の櫛」 ……岡田八千代 作 / 丸知亜矢 演出
16:00～ シンポジウム 「明治・大正期の新劇」
シンポジウムコーディネーター・久保田明 (劇団名古屋)
- (各回とも開場は開演の30分前)

主催○文化庁 / 一般社団法人日本演出者協会

共催○愛知県芸術劇場 (財団法人愛知県文化振興事業団)

制作○一般社団法人日本演出者協会

「日本の近代戯曲研修セミナー」実行委員会

愛知県文化振興事業団